



わたしたちは NPO 才の木です

NPO 法人「才の木」は、木のある豊かな生活と森と環境を守るために活動します

「才の木」 設立の経緯

2006 年 12 月 6 日に誕生

設立には日本木材学会主催「日本の森を育てる木づかい円卓会議」の「木づかいのススメ」という提言が契機となった

才の木は、一般個人を対象に木材を中心とする環境教育を行う NPO 法人

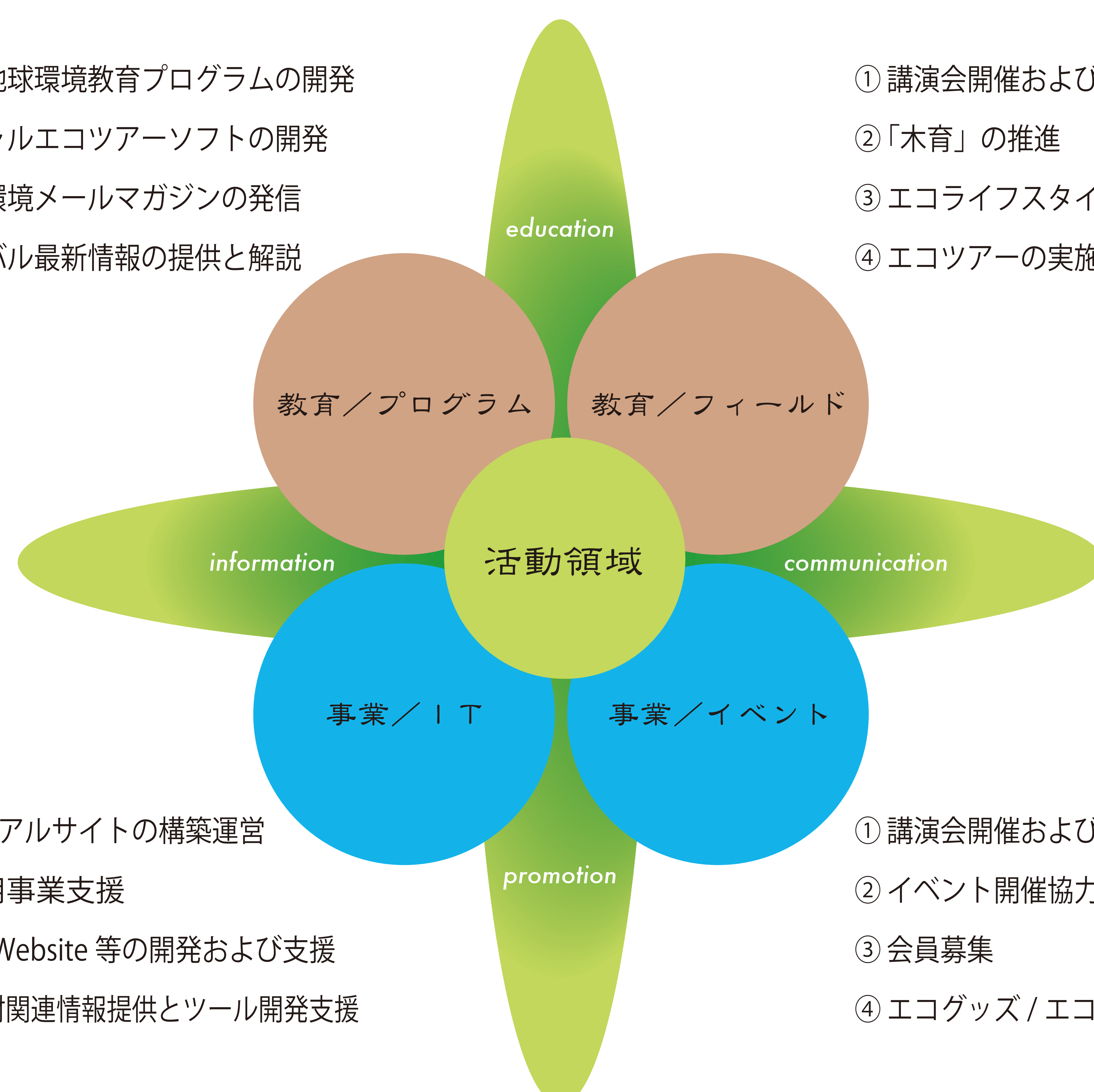
わたしたちの 問題意識

- 京都議定書で求められている CO₂ 削減目標 6%の達成は不可能とはいわないが困難だろう
- その達成には間伐材等の森林整備が不可欠だが必ずしも一般市民に理解されているとはいえない
- 日本の森を守るためには木材利用、森づくり、環境保全という 3 者にバランスのとれた対応が必要だ
- この教育プログラムを「木育」と名付けよう
- この普及・啓発活動には学会、行政、企業、消費者の協働が必要だ

わたしたちの 活動領域

- ① 木材と地球環境教育プログラムの開発
- ② バーチャルエコツアーソフトの開発
- ③ 木材・環境メールマガジンの発信
- ④ グローバル最新情報の提供と解説

- ① 講演会開催および支援
- ② 「木育」の推進
- ③ エコライフスタイルの教育啓発
- ④ エコツアーの実施協力



- ① バーチャルサイト&リアルサイトの構築運営
- ② 最新 IT 技術の利活用事業支援
- ③ 印刷媒体 / 映像媒体 / Website 等の開発および支援
- ④ 生活 / 仕事に便利な木材関連情報提供とツール開発支援

- ① 講演会開催および講師派遣
- ② イベント開催協力
- ③ 会員募集
- ④ エコグッズ / エコギフトの販売仲介等



わたしたちは NPO 才の木です

NPO 法人「才の木」は、木のある豊かな生活と森と環境を守るために活動します

わたしたちが 活動する 沢山の理由を 紹介します

【認識やコンテンツ】

- 京都議定書における CO₂ 6%達成目標のうち 2/3 を森林の二酸化炭素の吸収に期待されている
- 木材を山から下ろし、代価を山に還元して森を育てる、という持続的循環の仕組みが壊されようとしている
- 途上国では天然林の過伐が森林破壊の原因であり、日本では国産材の利用停滞が森林荒廃の原因である
- 日本の森林が果たしている環境貢献と国産材の持続的な利用の大切さを訴えたい
- 関係者に限らず広く市民や消費者に対して伝えたい
- とくに小学生や中学生に対する教育プログラムを充実させたい
- 里山や人工林では枝打ち・間伐などの手入れが不足しているから森林が荒廃している
- 森林の持つ環境機能の低下に対する懸念を伝えたい
- 環境機能とは、洪水や渇水の防止、山崩れの防止、生物多様性の保全、二酸化炭素の吸収など
- 市場経済において、国産材の取引や流通を拡大するための仕組みを考えたい
- 途上国では天然林の過伐、日本では国産材の利用停滞、が森林荒廃の原因である

【方法や手段】

- 消費者や企業、行政への提言、広報や普及活動の展開を行いたい
- コミュニケーションの手段としては、時代に即したインターネット、デジタル映像、blog などを活用したい
- さまざまな企業・行政組織・NPO 団体等と横の連携による協働を図りたい
- 教育プログラムのコンテンツは最新の科学的知見も含むものとしたい
- 主催するシンポジウムを最新の情報に基づく意見交換のスペースとして位置づけたい
- デジタルのみならず出版活動も随時展開したい
- 表現はわかりやすく正確に、を基本としたい
- 多様な選択肢からの木材・木質、木のある暮らし、木的生活スタイルにこだわりたい